

## 国際規格の動向—国際会議に出席して— \*喜多英雄

5月、6月の国際会議は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で全てWeb開催であった。当社に関する審議について報告する。

### IEC/TC110（電子ディスプレイ） WG14（電子ディスプレイの耐久性試験方法） Web会議

開催日：2021年6月3日

参加国：アメリカ・ブラジル・ドイツ・中国・韓国・日本

6ヶ国 36名

#### (1) PWI 110-58 Environmental tests—Outdoor weathering

屋外設置されるディスプレイ機器の耐候性試験の規格開発で、PLを喜多に変更し、Expert募集を進める。

次回は2021年10月に開催予定。

### ISO/TC42（写真/画像）WG5（写真/画像の保存性） Web会議

開催日：2021年6月8日、10日

参加国：アメリカ・イギリス・ドイツ・オランダ・ベルギー・スイス・

日本 7ヶ国 21名（6月8日）、22名（10日）

#### (1) ISO/FDIS 18947-2(摩耗試験)

FIDSの準備が完了し、投票を開始する。日本の往復平面摩耗試験法、学振型摩擦試験が掲載されている。

#### (2) ISO/PWI 18937(イメージング材料-現像済み写真

印画紙-屋内光の安定性の測定方法) edition 3

##### ①Part 1(通則)、Part 2(キセノン)

CDコメントに対して議論した。Observationを各自に送り次回引き続き議論を行う。

#### ②Part 3(LED):PL 須賀茂雄

NPが成立し、CDに向け、LEDの分光分布および種々のLEDのピーク波長の評価、演色性の評価の説明が行われた。測定データから標準偏差等で統計的に公差を検討する提案や、LED光源を規定する波長幅について提案があった。各自意見を検討し、次回引き続き議論する。

次回は2021年11月に開催予定。

### ISO/TC156（金属及び合金の腐食） WG7（腐食促進試験） Web会議

\*\*長谷川和哉

当社より須賀、長谷川の2名が参加した。

開催日：2021年6月9日

参加国：アメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・ベルギー・スウェーデン・チェコ・オーストラリア・中国・韓国・日本 11ヶ国 30名

#### (1) ISO 9227(塩水噴霧試験):PL 須賀茂雄

須賀より、CD投票のコメント及びCD投票のコメントを反映したDIS案、更にドイツからの追加コメントに対するObservation案を用いて説明し、議論を行った。DIS投票に進め、投票結果を次回会議で議論する。日本から腐食照合試験片のRRTを提案し議論した。

#### (2) ISO 10062(ガス腐食試験)

須賀よりDIS案を用いて今回の主な改正点を説明した。各ガスのWARNING追加と安全な操作手順の改正提案である。改正が承認され、須賀がPLとしてDIS案と今回の会議に基づいてドラフトを作成する。

- (3) ISO 21207(塩水・乾燥・ガス・複合サイクル試験)  
CDからのスタートで改正が承認された。PLはスウェーデン。
- (4) ISO 16701(Volvo 複合サイクル試験)  
スウェーデンより、改正の提案について説明があった。  
CDからのスタートで改正が承認された。
- (5) Condensation test  
チェコより、1回目のCD案に対するコメントの  
Observationと2回目のCD案について説明があった。  
今回の会議の内容に基づいたNPを提出する。
- (6) ISO 16539 Method BのTR:PL 藤田委員  
TRの作成計画について説明があり、New itemを開始する。  
今回の会議の内容に基づきドラフトを準備する。  
Target dateは2025年3月31日(36ヶ月)。  
次回は2021年10月または11月に開催予定。

## ISO/TC35/SC9(ペイント及びワニス/一般試験方法) /WG31(硬化後の試験) Web会議

当社より須賀、喜多、長谷川の3名が参加した。  
開催日: 2021年6月15日  
参加国: アメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・オランダ・スイス・スウェーデン・中国・日本 9ヶ国 29名

- (1) ISO 4628-3:2016(塗膜劣化の評価—第3部: 錆の等級)  
オランダと日本から図に関するコメントがあり、須賀より説明した。改正を行う。
- (2) ISO 4628-10:2016(塗膜劣化の評価—第10部: 糸状腐食の評価)  
ドイツ、オランダ、日本より図に関するコメントがあった。現

在の技術であれば質の向上が可能なため、改正を行う。

- (3) ISO 7784-1:2016(耐摩耗性—研磨紙法)  
ISO 7784-2:2016(耐摩耗性—摩耗輪法)  
アメリカからコメントがあり、変更が必要な箇所が複数あるため、改正を行う。
- (4) ISO 7784-3:2016(耐摩耗性—試験片往復法)  
アメリカから Precision データについてコメントがあり、須賀をPLとし、マイナーレビジョンを行う。DIS投票からスタートする。
- (5) ISO/CD 11997-3(N-VDA サイクル試験)  
NP投票時のコメント及びCD投票時のコメントの取り扱いについて議論された。ドイツの自動車業界は冷凍試験のある特殊なサイクルを必要としているが、その必要性について議論された。DIS投票時に再度コメントし、議論を継続する。
- (6) ISO/AWI 16474-2:2013(耐候性—第2部: キセノン)  
TC61/SC6と同様の改正で、DAmd投票を進める。
- (7) 日本提案—塗膜の熱性能試験  
日本より JIS K 5603 に基づく塗膜の熱性能試験の新規提案の説明があった。NPとして準備する。  
次回は、2022年6月に開催予定。

<ISO規格発行までの手順>		
PWI	Preliminary Work Item (Project)	予備段階
NP	New Proposal for a work item	提案段階
AWI	Approved Work Item	提案承認段階
WD	Working Draft	作成段階
CD	Committee Draft	委員会段階
DIS*	Draft International Standard	照会段階
FDIS	Final Draft International Standard	承認段階
IS	International Standard	発行段階

※IECではCDV : Committee Draft for Vote

PL	Project Leader	プロジェクトリーダー
RRT	Round Robin Test	ラウンドロビンテスト
TR	Technical Report	技術報告書
DAmd	Draft Amendment	追補案

\* 校正部 部長

\*\*日高・川越工場 開発部 プロジェクトD 課長代理

## 国際規格の動向—最近の発行規格について—

### 独フォルクスワーゲン規格 PV1303、PV3929 に キセノンウェザーメーター SX75 型、GX75 型、GX90 型が採用

2021年5月、当社のキセノンウェザーメーター SX75 型、GX75 型、GX90 型の3機種が、独フォルクスワーゲン規格 PV 1303(自動車内装材の耐候性試験規格)および PV 3929(自動車外装材の耐候性試験規格)に採用された※。当社のキセノンウェザーメーターは、太陽光に極めて近似した自社生産のキセノンランプと装置の一貫生産により、高精度の試験制御が可能で、世界中で広く使用されている。



スーパーキセノンウェザーメーター  
SX75 型



キセノンウェザーメーター  
GX75 型



キセノンウェザーメーター  
GX90 型

※型式によりオプションが必要になります。お問い合わせください。

### ISO 4589-4 :2021 Plastics - Determination of burning behaviour by oxygen index -

#### Part 4: High gas velocity test 制定

本規格は、高流速下の燃焼性を評価する酸素指数の求め方および試験装置を規定している。試験には、当社が開発した燃焼性試験器 ON-Z 型が使用された。

本規格の附属書には、宇宙航空研究開発機構(JAXA)による FLARE プロジェクト(微小重力下での材料の燃焼性の予測方法開発)が紹介されている。これは、高流速下での酸素指数を求め、国際宇宙ステーション内のような微小重力下での材料の燃焼性を予測するためのものである。



高流速下の酸素指数方式の  
燃焼性試験器 ON-Z 型